



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2016.7~2017.6]



国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

3 3 4 複合地区スローガン

100周年にウィ・サーブ つなげよう未来へ

3 3 4-C地区スローガン

広めよう奉仕の輪、繋げよう次の100年へ、愛と希望をのせて!

磐田ライオンズクラブ

スローガン

ライオンズクラブの原点を学ぼう

努力目標

地域に貢献

弱者に愛の手を

青少年の健全育成

2017 1

会長挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会長職について半年があっという間に過ぎました。理事会、例会、各種会合等、又それらについての打ち合わせ、事前準備に大変に中身の濃い半年でした。その中でも例会において時間を守るということについては特に成果が出た半年間だったと思います。理事会において、又その後のそれぞれの例会スケジュールの事前打ち合わせにおいても各委員長から徹底的にムダを省いた意見を頂き非常に感謝しているところです。

委員会活動においても献眼献腎献血委員会では今までなかった静岡産業大学においての献血運動も大成功で「もう1回やってほしい」と産業大学から依頼を受けたほどでした。学校側の貴重な意見として今後の検討材料にしていけたらと思います。青少年YCE委員会では市内小学校全22校へのタグラグビーボールの寄贈、そして国際平和ポスターコンテストにおいては、校長会でチラシを配ってもらう等の努力のおかげで今までにない50数点の応募を勝ち取る事が出来ました。PR情報委員会も1年間のアクティビティがひと目でわかるような今までにない会報誌の構成など若い会員の力を感じるところです。

ただ、会員拡大についてはこれから勝負です。会員拡大委員会をGMT・GLT委員長が中心となり、飲み会等を取り入れ各委員長出席のもと定期的に行われています。会員の皆さんにも委員長から話がいていると思いますが、各委員会で最低1人の新会員の入会を全力を挙げてをお願いします。各委員会で1人と言うのは年初にも言いましたが特定の個人に負担がかからないように、という事を理解してもらい委員会でのチームワークを最大限発揮してもらいたいと思います。

キャビネットからの要請も沢山ありますが、磐田ライオンズクラブの名に恥じないように出来る限り協力をお願いしますと共に、半年間の会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



会 長
L. 齋藤 道夫

アクティビティ・例会より

～ ジュピロード夏祭り献眼登録運動 ～

7月23日(土)、今年度もジュピロード夏祭りに合わせて献眼登録運動を行いました。総勢35名もの会員の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。当日は幸い天気にも恵まれ、63名もの方に登録申し込みをして頂き、55名の方に登録して頂くことができました。また、これと同時に磐田ライオンズクラブの内におきましても、私を含め、会員歴の短い方を中心に献眼登録の大切さを、本アクティビティを通じて理解を深めることができたのではないかと思います。

平成26年度には年間1419人もの角膜移植が実施されたそうです。しかし、待機患者は1836人とまだまだドナーが不足しております。当クラブにおきましても、会員の皆様へのアイバンク登録率アップを推し進めていく所存ですので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。



献眼献腎献血委員会 委員長 L. 齊藤 伸

～ 家族会 ～

8月20日(土) 8時30分に磐田グランドホテルからバス2台にて、家族の方々と一緒に目的地に向けて出発しました。静岡市葵区にある静岡県地震防災センターに行き、地震・津波等の災害想定や対策などをパンフレットや映像にて説明を受けました。その後、過去の地震を再現できる装置「地震ざぶとん」にて、ゆれ方及び震度を体感することにより、同じ震度でも縦揺れ横揺れでかなり異なることを実感しました。

次に、清水港へ移動し、あいにくの天候で富士山を見ることは出来ませんでしたが、清水港船弁クルーズにて家族と一緒に昼食を楽しませて頂きました。

静岡市丸子にある伝統工芸体験施設の駿府匠宿へ移動し、家族へのみやげとして、竹染公房で持ち手のついた、ヒゴの曲線がとてもきれいな花器を作られた方もいました。帰りのバスの中で、くじを行い楽しく無事に帰ることが出来ました。



大会計画委員会 副委員長 L. 舟橋 文彦

～ 静岡産業大学にて献血運動 ～

10月12日(水)に、今年度、新しいアクティビティとして静岡産業大学にて献血運動を行いました。経緯としましては、日本赤十字さんからの要望で、解散された磐田南クラブさんがそれまで行われていたアクティビティを引継いだ、という形です。

当日は平日にもかかわらず、お忙しい中13名もの会員の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。献血運動については、70余名もの方から申し込みを頂き、55名の方から献血をして頂きました。一時は受付待ちが10名を超え、献血車のキャパシティを超えるほどの大盛況となったのは嬉しい誤算です。加えて、若く血気盛んな大学生を中心とした献血でしたので、400ml献血が多く、献血総量という点で非常に頼もしいアクティビティとなり、日本赤十字より感謝状も届いております。

最後に、本年度は4月のいわた大祭りにおいても例年通り、献血運動を開催する予定です。皆様の一層のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



献眼献腎献血委員会 委員長 L. 斉藤 伸

～ 国際平和ポスターコンテスト ～

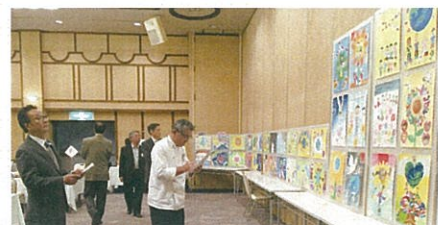
例年は10-20点の作品が応募されましたが、本年は何とかして応募数を増やしたいと考え、対策を打ちました。まずは校長会にて募集のお知らせをし、委員会の人脈を利用した関係者への働きかけ、そして募集のポスターまで作りました。これらが功を奏したのか恐らく過去最高の52点もの作品が集まりました。

せっかく児童・生徒さん達が描いてくれた作品を例会で披露するだけでは惜しいので、10月23日に1プラザで行われた「ふれあい広場」という催しの機会を利用し、全作品を会場に展示しました。更には入賞者3名を対象に会場での表彰式も行いました。受賞された児童・生徒さんには良い思い出となってくれるといいですね。

青少年YCEクエスト委員会 委員長 L. 水谷 行秀



ふれあい広場にて表彰式



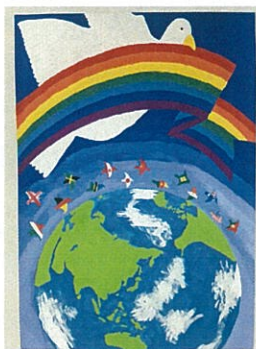
只今、真剣に審査中



大賞受賞作品



小学生 特別賞受賞作品



中学生 特別賞受賞作品



展示風景

～ 大池クリーン作戦 ～

10月16日、朝早くから大池クリーン作戦に、多くのLCの方々にご参加頂きありがとうございました。市長の挨拶から始まり、前半の方は草刈り・後半の方は刈れた草の収集と皆さん汗を流しながら和気あいあいと作業され、ケガも無く無事に終わる事ができました。大池が多くの市民の憩いの場として使用される事を願っています。また来年も、多くのLCメンバーが参加して頂けるようお願いします。



L. 鈴木富二夫

～ 献眼者合同慰霊祭 ～

10月22日(土)袋井市の油山寺にて、今年度も献眼者合同慰霊祭が厳かに行われ、静岡県アイ



バンクの堀田理事長をはじめ、多くのライオンズメンバーが出席、磐田ライオンズクラブからは26名の会員が参列し、献眼された皆様のご遺徳を偲び、御霊のご冥福をお祈りいたしました。

献眼献腎献血委員会 委員長 L. 斉藤 伸

～ライオンズパークの草刈り&ペンキ塗り～

11月6日(日)にライオンズパーク合同草刈り(二之宮二丁目自治会、中部電力と合同)を行いました。今回はベンチ等(テーブル付ベンチ4脚、ベンチ15脚、ライオンズパークの看板)の修繕やペンキ塗りも同時に行いました。草も1m以上伸び、繁茂の程度が3月、6月に比べ著しく、ベンチ等のヤスリでの汚れ落とし、ペンキ塗りと作業量は通常より多く、2時間以上の予定でしたが、皆さんの作業の段取りが良く、1時間で全ての作業を終了することができました。今回のペンキ塗り作業は、前年の環境福祉委員会の、磐田LC寄贈品の維持管理についての提案に基づき実施しました。他の寄贈品についても老朽化状況の調査、修繕や取り替えの判断を継続的に行う必要があります。なお、ライオンズパーク北端の磐田ライオンズクラブの木製の看板の腐食が著しいことが今回判明しました。

環境福祉委員会 委員長 L. 河原崎 誠



～タグラグビー普及応援～

磐田ラグビーフットボール協会の鈴木亨司会長と雑談の折、「小学生の体育授業にタグラグビーが取り入れられ普及しているが少人数の学校ではボールなど道具が揃わず難儀している」との話がありました。当クラブも青少年健全育成事業としての継続協賛事業が無い事から協賛を申込み、第一弾として市内全22校にボール2個ずつ市教育委員会を通じて贈呈式を行い、継続事業化を考えています。

タグラグビーは男女混合の5人プラス交代要員2名で1チームとし、タックルする代わりにボールを所持している相手のタグを取る事で停止させ、3秒以内に仲間にパスをしなければなりません。タグを取った者は返却するまで、取られた者は受領&装着するまで次のプレーは出来ません。得点は相手ゴールラインを越しインゴール内に走り込んで立ったままボールを置けばトライで1点となり、身体接触行為は全て禁止され安全重視を基本としています。5人が必ずボールを持ち、走ることが出来るので足の遅い子でも参加でき、ボールを仲間に渡し、渡されるので仲間意識が強くなり協調性が育まれる、走力が身に付くなどの利点が確認されています。

磐田チームは県大会を勝ち抜き、全国大会出場の強豪チームとなっています。メンバーもこの機を捉えて子供さん、お孫さんを参加させ応援に行かれては如何ですか？

L 鈴木 和男



タグラグビーについて
ゲストスピーチで学びました



ラグビーボール贈呈式

～クリスマス研修会(12月第2例会)～

12月15日(木)第2例会メンバー45名の参加で、クリスマス研修会が開催されました。

今回の企画は、コピー美川のものまねショーとラ・シーク女性3人による、アラブ文化圏のベリーダンスを披露させて頂きました。ものまねショーは歌とMCによる楽しいひとときとなりました。さすが美川憲一公認! またベリーダンスは、妖艶なダンスで会場内がうっとり、素晴らしかった。また大会計画委員メンバーは、クリスマスバージョンの衣装に着替えて、研修会をサポートしました。食事をし酒を酌みあわせたのあつという間の有意義な2時間の親睦会でした。

リフレッシュした気持ちで後半のライオン活動に邁進して行きましょう。

大会計画委員会 委員長 L. 加藤 克巳



ラ・シークによるベリーダンス

妖艶?なコピー美川氏の熱唱



また会う日まで～♪

PR情報委員長
L. 島 祐二

編集後記

今回も各役員が、お忙しい中、活動報告をして頂きました。必ず一読下さい。
知らなかった事があると思います。